

チチブリンドウ	<i>Gentianopsis contorta</i> (Royle) Ma	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 I B類)		リンドウ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が極めて少ない。	<p>写真(高橋弘)</p> 
形態の特徴	茎の高さ約15cm、よく分枝する。萼は長さ15-20 mm、その2/3は筒になり、2裂片は鋭頭、他の2裂片は鋭尖形で先が尾状になる。花冠は長さ20-25 mm、その2/3は筒になる。	
生態的特徴	冷温帯の草原や林縁に生育する1年草。花期は9-10月。	
分布状況	中国からヒマラヤにまで分布し、日本では本州の中部地方に希産する。岐阜県では美濃地方西部に見られる。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊と、山草愛好家による採取。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		
		

文責:高橋弘